〒 990-0067
山形県山形市花楯１－１６－１１

月刊 （第三種郵便物認可） 第43660号

早く見つけて対処 大事

中井こども医院（山形） 中井院長に聞きました

子どものアレルギーについて、アレルギー科を診療科目に掲げる中井こども医院（山形市花楯1丁目）の中井伸一院長に聞いた。

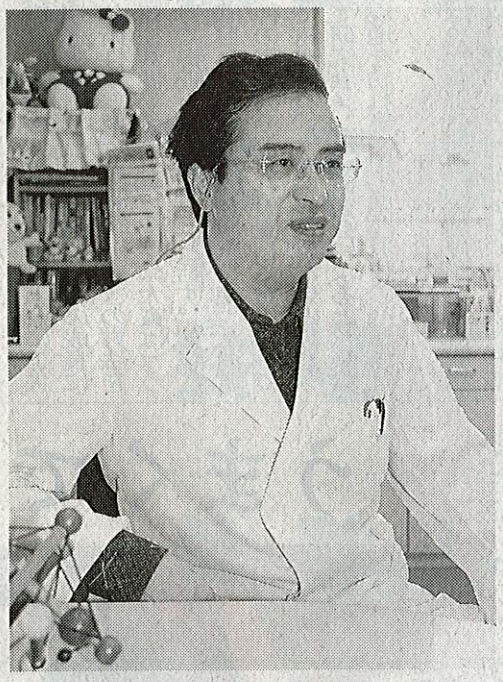
Q アレルギー症状は何が原因で起こるの？

A 食物アレルギーやアトピー性皮膚炎、ぜんそく、鼻炎などの症状を発症する子どもの多くが、生まれつきアトピー性素因を持っています。そのせいでアレルギー物質に反応してしまうのです。

最初に出るのが食物アレルギーの症状で、乳児の1割が発症するとのデータもあります。成長するに従ってアトピー性皮膚炎、ぜんそく、鼻炎などと症状が変化していきます。もちろん、途中で治癒する人もいます。

ただ、素因を持っているからといって、全員がアレルギー症状を起こすわけではありません。日本人の8割が何かのアレルギー症状が出る可能性を持つといわれていますが、全員が発症してはいません。

素因は遺伝しますが、アレルギーを発症する人の1割は両親ともアレルギー症状がなかったのに発症した、というデータがあります。両親は、素因は持っていたが、発症しなかったということです。昔に比べて、最近は症状を起こす人の割合が高くなっています。衛生化が進んだことが要因とも指摘されています。



「早期に治療することが、アレルギーをひどくしない近道」と話す中井伸一院長

Q 食物アレルギーはなぜ起こるの？

A 体質に合わない食べ物の中のタンパク質を、体が「異物」と認識してしまい、抗体をつくるからです。「異物」が口の周りにつけば腫れますし、消化管につけば、吐いたり、下痢したりします。体に吸収されてしまうと、今度は全身反応が起き、じんましんや呼吸困難、ひどい時は血圧低下や意識障害などのアナフィラキシーというショック症状が出ることがあります。

素因 生まれつき／除去する食品見極めて

Q 食物アレルギーはどうやって診断するのですか？

A 実際に食べ物を食べて反応したことで初めて分かることが多いのですが、詳しく診断するには、皮膚テスト、血液検査などを経て原因となる食品を特定するテストを行います。

さまざまなアレルギー反応のうち、最初に出るのが食物アレルギーなので、早く見つけて対処することが、アレルギーの進行を深めない近道です。テストは赤ちゃんのうちから年齢に関係なく受けられます。

Q 食物アレルギーは成長すれば治りますか？

A 卵、牛乳、大豆のアレルギーは、6歳を過ぎると9割が治るといわれています。逆に小麦、魚、甲殻類、ソバ、果物のアレルギーは治りにくいです。その原因は分かっていません。

Q 有効な治療法はありますか？

A 現時点で確実なのは、原因となる食物を除去するしかありません。しかし、体質自体を変える方法や、抗体を抑える方法、害のない寄生虫を利用する方法などの研究が進められていて、有効な治療法が開発されつつあります。

食物を除去する際は、本当に原因になっている食品だけを除去するようにした方がいいです。成長期に栄養不足になり、脳に障害を与える可能性も考えられるからです。10食品にアレルギー反応を起こしても、本当に駄目な食品は1つだけ、ということもあります。専門病院でテストし、見極めましょう。

やまがたわいわい子育て

※月刊「新医療」2006年9月号「電子カルテシステム稼働状況・診療所編」より